

## 第7回在デュッセルドルフ日本国総領事杯

### 囲碁大会開催報告

11月9、10日、デュッセルドルフ市内のツェツィーリエン・ギムナジウムにて、総領事館とノルトライン・ヴェストファーレン（NRW）州囲碁連盟との共催にて、第7回在デュッセルドルフ総領事杯囲碁大会が行われました。今回参加した方は、二日間で総計121名と、これまでの大会の中では過去最高で、特に若い世代の参加者が非常に目立ちました。参加者は、事前に申告した自身の評価レーティングに基づき、特定のカテゴリーに分類され、その中で総当たり戦を行いました。優勝者は、レーティングが最も高いカテゴリーの中から、最も勝ち数の多かった、ルクセンブルクから参加したAndreas Götzfriedさんが選ばれ、本事業に協賛して頂いた日本航空から日独往復航空券が贈呈されました。

また、10日には、主に小学生を対象に、碁盤の目が縦横13段の小さな碁盤を用いて行う13×13囲碁大会を、同時並行で開催しました。40名の子供達が参加し、中には既に大人顔負けの強さを持っている参加者もいたようです。NRW州囲碁連盟によれば、最近ではドイツでも読まれている日本のマンガ（『ヒカルの碁』）の影響で、若い世代のドイツ人が囲碁を習い、たしなむケースが増えてきているようです。その点で、当日も主催者側として参加頂いた、デュッセルドルフ市及びその周辺地域の、主に小学校で囲碁を教え、囲碁の普及に尽力しているHelmut Heidrichさんは、当地における日本文化・伝統の浸透及び更なる理解の促進のための一翼を担う総領事



館としても、非常に心強い存在でした。来年も開催を予定しておりますので、これまで囲碁に触ったことがない方や、これから囲碁を始めようと思われている方は、是非、市民交流という意味も、ドイツ人の参加者とともに囲碁を打ってみてはいかがでしょうか。

S. 2

Nr. 121

# 日本人会報

2013年12月

隔月発行



デュッセルドルフ日本商工会議所



デュッセルドルフ日本クラブ



デュッセルドルフ日本人学校